

## 壁張りの技法完成へ 壁装研究会ビデオ改訂版制作

動画も取り入れ分りやすく 壁装教育に絶大な効果 無償での一般公開も予定

壁装研究会が改訂・制作を進めている映像テキスト「壁張りの技法」前・後編が近々完成し、5月中旬頃には活用できる見込みという。今回の改訂では、旧来の静止画像だけでなく、施工技術の要部が目で見えて分かるようにと、動画の映像も取り入れられたという。上映時間は旧版と同じく前・後編合わせて1時間、内容は、前編は壁装の基本的事項、壁紙や下地、施工計画など、後編は上張りの技法を主にした構成となっている。この制作には一般社団法人日本壁装協会も協力しており、壁装研究会は、完成後はその普及に努め、You Tubeで公開するなどの方法も講じるという。教材完成と正しい壁紙施工普及への貢献が期待される。

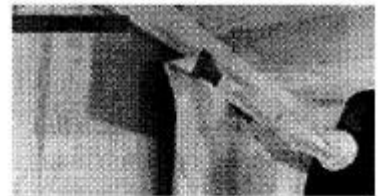
ビデオ「壁張りの技法」旧版は、1993年1月に作成され、壁装研究会施工会員企業の社員並びに関係技能者の教育に使用されたのが始まりで、施工会員企業はもとより、希望する会員や施工店などにも貸し出しされ、技能教育に効果を挙げてきていた。

施工会員企業の話では、新入社員・技能者にはこのビデオを見せて教育することで、旧来の見習いだけの教育とは格段にアップした教育効果があり、企業の力量アップに計り知れない効果をもたらしたという。また、このビデオは、同会が東京室内装飾事業協同組合との共催で毎年実施している、新入社員研究会でも全編フルに活用され効果を挙げてきていた。しかし、時代の進化とともに壁紙も施工も新しい進展を見せているため同会はこのような効果的教材を一層有効なものに進展させるため、平成25年からその改訂を計画し作業に取り掛かった。その後、その制作途中で、壁装・室内仕上げ業界には、若い働き手の導入が喫緊の課題という問題が浮上してきた。そこで、壁研と壁協は、本紙既報の通りインテリア多能工募集「インテリアデコレーター」のDVD制作を先行させ、これを全国の工業高校に寄贈する事業を優先させて実施した。その分、「壁張りの技法」の制作は遅れることとなったが、壁研は、昨年秋以降連日のように同ビデオの制作に没頭し、今年5月に予定されている東京室内装飾事業協同組合と共催の新入社員研究会には絶対間に合わせるとの意気込みで取組まれてきたという。幸い、2月の壁張りの技法撮影で、ほぼその道筋が見えるようになり、前記のように4～5月頃には完成する見通しになったものという。

壁装研究会は、前述の通り完成した壁張りの技法を無償で誰にでも見てもらえるようにとYou Tubeに投稿・公開を予定している。

壁装新聞(第421号)より引用

### 壁張りの技法後編・画像の一部



材料はこのように持ち、まず頭決めをします。この時、壁紙を横に引張って伸ばしてしまわないように気をつけてください。



まず、頭の方を30センチぐらい軽く押さえて、下が垂直線に合っているか良く確かめてください。



平均的になでて、しわを伸ばしますが、なで方はなるべくタテ方向にします。あまり横に力を入れ過ぎると、ジョイントが合わなくなったり、すき間が出来るもとなります。



切り付ける部分は、このようにへらで良く折り目をつけます。